

八雲町地籍調査業務仕様書

- 1 委託業務名 : 令和8年度 八雲町桜野の一部地区 地籍調査業務
- 2 調査区域 : 二海郡八雲町 桜野 地内
- 3 実施工程 : R1、R2、E2、FII-2
- 4 業務の内容 : 下記記載のとおり

地区コード		20220134601	20230134601	合 計 (k m ²)
地 区 名		桜野の一部 (R4)	桜野の一部 (R5)	
精 度		乙 1	乙 1	
縮 尺		1/2, 500	1/2, 500	
E1工程	調査図素図			0
C工程	三角測量			0
F I 工程	細部測量			0
R1工程	筆界確認案		4.29	4.29
R2工程	仮杭設置		4.29	4.29
E2工程	現地調査		2.73 (4.29 km ² の内)	2.73
FII-1工程	一筆地測量			0
FII-2工程	地籍図原図	3.03 (4.60 km ² の内)		3.03
G工程	地積測定			0
H工程	地籍図複図			0
地籍図集成図				0
当該年度数値情報化				0
過年度数値情報化				0
備 考				

- (1) 地籍図複図について：令和8年度該当無し
枚 数 0枚 (多少の異動が有るものとする)
- (2) 当該年度数値情報化について：令和8年度該当無し
筆 数 0筆
- (3) 過年度数値情報化について：令和8年度該当無し
筆 数 0筆 (多少の異動が有るものとする)

※この過年度数値情報化成果のみ提出日は、令和 年 月 日とする。

5 調査区域内筆数（調査前筆数）

地区コード	20220134601	20230134601	合 計 (筆)
地 区 名	桜野の一部 (R4)	桜野の一部 (R5)	
精 度	乙 1	乙 1	
縮 尺	1/2, 500	1/2, 500	
区域内筆数（筆）	91	153	244
備 考			

6 提出すべき成果品：後記記載のとおり

7 一般仕様

（目的）

- （１） 本事業は、国土調査法の規定に基づき毎筆の筆界を明らかにし、測定し正確な地籍図を作成すると共に、毎筆の面積を正確に計算して地籍簿を作ることを目的とする。

（書類の提出）

- （２） 受託者は、本事業の契約時及び施工期間中に必要に応じ次の書類を町長に提出するものとする。

業務着手届、業務日程表、作業班長及び主任技術者等の各種届、現場宿舍届、地籍図根三角・多角点選点計画図及び平均計算図、仕様器械材料等の検査合格証（写し）及び検定書、業務完了届及び成果品目録、その他契約事項に定める書類及び必要と思われる書類。

（法令、規則、準則等の適用）

- （３） この事業の実施方法は、国土調査法及び同施行令、地籍調査作業規程準則、基準点測量作業規程準則、八雲町地籍調査作業規程、その他関係する法令等に従って事業を実施しなければならない。

（検査）

- （４） 各作業工程に係る成果品及び関係図面・簿冊等は作業の途中及び完了時に於いて容易に検査を実施し得るよう常に整備しておくものとする。

（立会）

- （５） 受託者は、提出した成果の閲覧により町長より参加を求められた時は、これに応ずるものとする。

（準備）

- （６） 受託者は、所定の性能及び規格を有する機器・材料を整備し、作業にはこれを使用するものとする。

(関係資料の整備、貸与、保管)

- (7) 受託者が必要とする関係資料及び図書等を貸与する。

受託者は、貸与された一切の関係資料等は責任を持って管理保管するものとし、これらより知り得た情報を他に漏らしてはならない。

(その他)

- (8) 全各号の外、本仕様書に明示されていない事項については、業務担当職員の指示を受けて行うものとする。

8 ~~C (三角測量)~~、R 1 (筆界確認案)、R 2 (仮杭設置)、~~F I (細部測量)~~、~~F II~~
~~1 (一筆地測量)~~ の各工程仕様

(総則)

- (1) 測量の方法は、地上法(数値法)とする。

(図根点の選点)

- (2) 作業を実施するに当たっては、選点に先立ち地形図により地籍図根三角・多角点選点計画図を作成し、町長の承諾を得た後実施するものとする。

(観測機器)

- (3) 観測に使用する機器については、使用前にその検定書(写し)を提出し、検査を受けた後使用するものとする。

(記録及び成果)

- (4) 記録及び成果については、地籍調査作業規程準則、運用基準第 19 条に基づくものとする。

9 ~~G (地積測定)~~、~~当該年度又は過年度数値情報化~~ の各工程仕様 (当年度該当無し)

(総則)

- (1) 地積測定の方法は、現地座標法(世界測地)とする。

(記録及び成果)

- (2) 記録及び成果については、地籍調査作業規程準則、運用基準第 54 条に基づくものとする。

10 F II-2 (地籍図原図)、~~H (地籍図複図)~~ の各工程仕様

(総則)

- (1) 地籍図原図及び地籍図複図を作成する場合、別に定める場合を除きこの仕様書に定めるところによる。

(地籍図原図及び地籍図複図の作成方法)

- (2) 地籍図原図の作成方法は、自動図化機法によるものとし、地籍図複図については自動図化機又は写真法によるものとする。

(地籍図原図及び地籍図複図の材質)

- (3) 地籍図原図及び地籍図複図の材質は、マイラー #300 とする。

11 ~~E 1 (調査図素図) 工程仕様~~ (当年度該当無し)

(総則)

- (1) 調査図素図を作成する場合、別に定める場合を除きこの仕様書に定めるところによる。

(作成方法)

- (2) 調査図素図作成に当たり使用する資料図（連絡査定図、分筆図：分割図）、要約書等については、町で貸与する。
- (3) 調査図素図の縮小図（辺長図含む）を1冊（式）作成する。
(調査図素図の材質について)
- (4) 調査図素図の材質は、マイラー #300 とする。

12 E 2 (現地調査) 工程仕様

(総則)

- (1) 現地調査を実施する場合、別に定める場合を除きこの仕様書に定めるところによる。
- (2) 調査図素図に基づき、概ねの土地の配列順序に従い、枚筆の土地について、その所有者、地番、地目、筆界を土地所有者立会いのもと調査確認すること。
(記録等)
- (3) 地籍調査表等に、現地調査の経緯、結果等を記録すること。また、実施主体の指示・関与及びその経緯、その他特に必要と思われる事項（立会人の連絡先（任意）等）を付記しておくこと。

13 ~~予備調査について~~ (当年度該当無し)

(総則)

- (1) 後続作業で地籍調査本体事業を実施するための基本資料を作成するものとする。
- (2) その他詳細については、別紙予備調査仕様書による。

14 委託設計書の主な体系及び単価の出典

- (1) 本業務の委託設計書の主な体系及び単価の出典は以下のとおりとする。
- ア 地籍調査事業費積算基準書（公益社団法人 全国国土調査協会）準拠
- イ 令和8年度 設計業務委託等技術者単価（国土交通省）
- ウ 令和8年度 測量業務用消耗品単価・測量機械等損料算定表（国土地理院）

15 その他

- (1) 部分確認検査について
- ア 令和8年11月13日（金）現在の出来高をもって第1回部分払いを行います。
- イ 令和9年3月10日（水）（業務完了）をもって、精算払いとします。